



# 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社小松製作所

コード番号 6301 URL <http://www.komatsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野路 國夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 浦野 邦子

TEL 03-5561-2616

四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,448,509	11.3	191,835	17.9	185,691	16.9	129,376	28.6
23年3月期第3四半期	1,301,973	29.7	162,747	350.9	158,903	358.1	100,622	448.2

(注) 四半期包括利益 24年3月期第3四半期 77,038百万円 (64.5%) 23年3月期第3四半期 46,829百万円 (69.0%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	133.86	133.75
23年3月期第3四半期	103.97	103.91

### (2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	2,228,145	969,722	927,765	41.6	974.52
23年3月期	2,149,137	972,680	923,843	43.0	954.48

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	18.00	—	20.00	38.00
24年3月期	—	21.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,050,000	11.2	282,000	26.5	276,000	25.6	186,000	23.4	192.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 0社(社名)、除外 1社(社名) コマツユーティリティ(株)  
(詳細は、添付資料6ページ2. その他の情報 をご覧ください。)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無  
② ①以外の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	998,744,060 株	23年3月期	998,744,060 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	46,720,785 株	23年3月期	30,841,419 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	966,471,670 株	23年3月期3Q	967,788,140 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをご承知下さい。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

（参考）平成 24 年 3 月期第 3 四半期（3 ヶ月）の連結業績（平成 23 年 10 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日）

（百万円未満四捨五入）

連結経営成績（3 ヶ月）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 3 月期第 3 四半期	462,642	4.6	58,886	0.1	55,448	△ 5.7	34,701	△ 5.9
23 年 3 月期第 3 四半期	442,210	23.5	58,835	260.7	58,792	262.1	36,858	262.9

	1 株 当 たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株 当 たり 当社株主に帰属する 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24 年 3 月期第 3 四半期	36.01	35.98
23 年 3 月期第 3 四半期	38.09	38.06

○添付資料

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	P. 6
（3）連結業績予想に関する定性的情報	P. 6
2. その他の情報	P. 6
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動	P. 6
（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更	P. 6
3. 連結財務諸表等	P. 7
（1）四半期連結貸借対照表	P. 7
（2）四半期連結損益計算書	P. 9
（3）四半期連結純資産計算書	P. 11
（4）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 12
（5）継続企業の前提に関する注記	P. 13
（6）セグメント情報	P. 13
（7）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

コマツグループは、2013 年 3 月期をゴールとする、3 カ年の中期経営計画「Global Teamwork for Tomorrow」を掲げ、①製品・部品の ICT（情報通信技術）化の推進、②環境・安全性能の更なる進化、③「戦略市場」における販売・サービス体制の拡充、④現場力の強化による継続的な改善の推進、を重点項目として活動しています。

本中期経営計画の 2 年目にあたる 2012 年 3 月期の第 3 四半期累計期間（2011 年 4 月 1 日から 2011 年 12 月 31 日まで）において、建設機械・車両部門では、中国の需要が大きく減少したものの、他の「戦略市場」および「伝統市場」の需要が前年同期を上回り、特に鉱山機械分野においては好調に推移しました。また、昨年 3 月に発生した東日本大震災からいち早く通常の生産体制に復旧させ、需要の増加を的確に捉えたこともあり、売上げは伸長しました。産業機械他部門では、ワイヤーソーの販売が前年同期を下回りましたが、プレス機械、工作機械および仮設ハウスなどの販売の増加に加え、ギガフォトン（株）を新規連結したことにより、売上げは増加しました。これらの結果、連結売上高は 1 兆 4,485 億円（前年同期比 11.3%増）となりました。利益につきましては、為替がドル、ユーロ、人民元に対し前年同期に比べ円高となったものの、売上げ数量が増加したことに加え、販売価格および製造原価の改善などに継続的に注力した結果、建設機械・車両部門および産業機械他部門とも増益となり、営業利益は 1,918 億円（前年同期比 17.9%増）、売上高営業利益率は前年同期に比べ 0.7 ポイント上回る 13.2%、税引前四半期純利益は 1,856 億円（前年同期比 16.9%増）、当社株主に帰属する四半期純利益は 1,293 億円（前年同期比 28.6%増）と、それぞれ前年同期を上回りました。

なお、第 3 四半期（2011 年 10 月 1 日～2011 年 12 月 31 日の 3 カ月）の建設機械・車両部門は、前年同期に比べ、為替が円高に推移する中、中国を除き引き続き需要が堅調だったことに加え、販売価格および製造原価の改善などに注力した結果、増収増益となりました。一方、産業機械他部門ではワイヤーソーの販売が第 2 四半期から減少に転じた影響が大きく、減収減益となりました。これらの結果、第 3 四半期（2011 年 10 月 1 日～2011 年 12 月 31 日の 3 カ月）の連結売上高は 4,626 億円（前年同期比 4.6%増）、営業利益は 588 億円（前年同期比 0.1%増）、税引前四半期純利益は 554 億円（前年同期比 5.7%減）、当社株主に帰属する四半期純利益は 347 億円（前年同期比 5.9%減）となりました。

※本文に記載しています売上高および利益は、注記のないものはすべて 2011 年 4 月から 12 月までの 9 カ月間の累計です。

#### ●コマツグループにおける「市場」の位置づけ

伝統市場	日本、北米、欧州
戦略市場	中国、中南米、アジア、オセアニア、アフリカ、中近東、CIS

第3四半期連結累計期間（9ヵ月）

（金額単位：百万円）

	当第3四半期 連結累計期間 [ A ] 自 2011. 4. 1 至 2011. 12. 31 1ドル = 79 円 1ユーロ = 111 円 1元 = 12.3 円	前第3四半期 連結累計期間 [ B ] 自 2010. 4. 1 至 2010. 12. 31 1ドル = 86 円 1ユーロ = 112 円 1元 = 12.8 円	増減率 % [ (A-B)/B ]
売上高	1,448,509	1,301,973	11.3
営業利益	191,835	162,747	17.9
税引前四半期純利益	185,691	158,903	16.9
当社株主に帰属する四半期純利益	129,376	100,622	28.6

第3四半期連結会計期間（3ヵ月）

（金額単位：百万円）

	当第3四半期 連結会計期間 [ A ] 自 2011. 10. 1 至 2011. 12. 31 1ドル = 78 円 1ユーロ = 105 円 1元 = 12.3 円	前第3四半期 連結会計期間 [ B ] 自 2010. 10. 1 至 2010. 12. 31 1ドル = 82 円 1ユーロ = 110 円 1元 = 12.4 円	増減率 % [ (A-B)/B ]
売上高	462,642	442,210	4.6
営業利益	58,886	58,835	0.1
税引前四半期純利益	55,448	58,792	△5.7
当社株主に帰属する四半期純利益	34,701	36,858	△5.9

部門別の概況は以下のとおりです。

部門別売上高（9ヵ月）

（金額単位：百万円）

	当第3四半期 連結累計期間 [ A ]	前第3四半期 連結累計期間 [ B ]	増減率 % [ (A-B)/B ]
建設機械・車両	1,265,104	1,146,921	10.3
産業機械他	183,405	155,052	18.3
合計	1,448,509	1,301,973	11.3

【建設機械・車両】

建設機械・車両部門では、金融引き締め政策の影響で中国の需要が大きく減少したものの、他の「戦略市場」および日本、北米、欧州の「伝統市場」の需要が前年同期を上回り堅調に推移しました。また、旺盛な資源・エネルギー需要を背景に、中南米、インドネシアなどを中心に鉱山機械分野の売上げが好調に推移し、特に部品・サービス分野の売上げは鉱山機械の配車台数の増加に伴い伸長しました。これらの結果、売上高は1兆2,651億円（前年同期比10.3%増）となりました。当部門では、昨年5月に開設した「グローバル販生オペレーションセンタ」を中心に、「KOMTRAX」の地域毎の稼働状況を活用し、需要変動にフレキシブルに対応できる体制の強化に取り組むとともに、ハイブリッド油圧ショベル「HB205/215LC」の日本以外の地域での市場導入および北米・欧州での新排出ガス規制に対応した商品の販売に注力しました。

建設機械・車両部門の地域別売上高

（金額単位：百万円）

	当第3四半期 連結累計期間 [ A ]	前第3四半期 連結累計期間 [ B ]	増 減	
			金 額 [ A-B ]	増減率 % [ (A-B)/B ]
日本	207,127	187,029	20,098	10.7
米州	321,693	281,725	39,968	14.2
欧州・CIS	147,157	112,849	34,308	30.4
中国	149,837	220,049	△70,212	△31.9
アジア※・オセアニア	346,216	271,123	75,093	27.7
中近東・アフリカ	93,074	74,146	18,928	25.5
合計	1,265,104	1,146,921	118,183	10.3

※日本および中国を除く

<日本>

日本市場は、東日本大震災からの復旧・復興向けの建設機械の需要が、レンタル向けを中心に伸長する中、生産・販売体制を速やかに復旧させ商品の供給を円滑に進めたことにより、売上げは前年同期を上回りました。今後の震災復興事業の本格化に伴う建設機械の稼働の増加に備え、東北オペレーション室東北サービスセンタやコマツ教習所（株）宮城センタを開設するなど、東北地方における復興事業を支えるサービス体制の拡充に努めました。また、東日本大震災に対する支援として、昨年3月以降進めてきたコマツグループが保有する機材の無償貸与を中心とした8億円相当の支援に加え、さらに8億円相当の追加支援（合計16億円）を行うことに致しました。

<米州>

北米では、住宅建設向けの需要の回復は依然として鈍いものの、レンタル、エネルギー、鉱山向けの需要は好調に推移しました。このような需要の伸長をとらえ、第1四半期に市場導入した新排出ガス規制に対応した商品およびハイブリッド油圧ショベルの拡販活動に取り組むとともに、引き続き「代理店在庫ゼロ活動」に注力しました。中南米では、最大市場であるブラジルにおいて景気減速や公共工事の着工遅れなどによる土木建設向けの需要が低調となったものの、チリを中心に鉱山向けの需要が好調に推移しました。これらの

結果、米州の売上げは前年同期を上回りました。

#### <欧州・CIS>

欧州では、財政不安による景気減速の懸念が続いていますが、主要市場であるドイツ、フランスでの需要が堅調に推移する中、部品の販売拡大などに努めるとともに、新排出ガス規制に対応した商品やハイブリッド油圧ショベルの導入に注力しました。CIS では、石炭や金などの鉱山開発向けおよび石油・ガスなどのエネルギー分野を中心に需要が堅調に推移しました。これらの結果、欧州・CIS の売上げは前年同期を上回りました。コマツロシア製造（有）においては、油圧ショベルに続き、主に鉱山で使用される大型ダンプトラック HD785 の生産を開始しました。また、昨年 10 月には、コマツ、太平洋国立大学およびハバロフスク州との 3 者間で、ロシア極東における建設・鉱山・道路機械分野での人材育成につき協力を行うことを合意しました。

#### <中国>

中国では、依然として政府による金融引き締め政策が続いており、資金不足による新規プロジェクトの着工遅れなどのため、土木建設分野を中心に需要が大きく減少し、売上げは前年同期を下回りました。このような状況ではありますが、中長期的な成長を見込み、需要の動向にフレキシブルに対応できる生産体制を確立するための設備投資を行いました。また、日本、北米、欧州に続き、中国でも協力企業（サプライヤー）を組織化して「中国みどり会」を発足しました。協力企業と一体となり QCD（品質、コスト、納期）の改善を推進し、中国におけるモノづくり競争力をさらに向上させていきます。

#### <アジア・オセアニア>

アジアでは、最大市場であるインドネシアにおいて鉱山向けの需要が引き続き伸長するとともに、土木建設・農業・林業分野も堅調に推移しました。また、インド、マレーシアなど他のアジア市場でも需要が堅調に推移するとともに、オーストラリアでも、鉱山向けを中心に需要が好調でした。これらの市場環境を背景として、アジア・オセアニアの売上げは前年同期を上回りました。昨年タイにおいて発生した洪水では、一部の協力企業（サプライヤー）が被災したものの、生産・販売への大きな影響はなく、通常通りの活動を継続しています。またオーストラリアでは、昨年 11 月にリオティント社との間で、同地域の鉄鉱山向けに 2015 年までに 150 台以上の無人ダンプトラックの運行を目指す覚書を締結しました。

#### <中近東・アフリカ>

中近東・アフリカでは、一部地域で政情が不安定な状況が続いていますが、アフリカの鉱山向けを中心に需要が好調に推移したことなどにより、売上げは前年同期を上回りました。鉱山開発やインフラ整備向けなど市場は引き続き拡大する見通しです。この市場拡大に対応するため、南アフリカで「KOMTRAX」を標準装備した建設機械の導入を開始するとともに、部品供給体制改善のため、南部アフリカ地域の販売代理店と連携し、部品デポを 2012 年 3 月に開設すべく準備を進めるなど、販売・プロダクトサポート体制の強化に引き続き取り組みました。

#### 【産業機械他】

産業機械他部門では、中国の金融引き締め政策や欧州での太陽電池の補助金削減および太陽電池の



素材であるシリコンウェーハの価格下落の影響を受け、ワイヤーソーの販売は第 2 四半期から減少に転じた結果、前年同期を下回りました。一方、自動車業界の設備投資は堅調に回復に向かい、プレス機械および工作機械の売上げは伸長し、仮設ハウスの販売も増加しました。タイの洪水被害については、日本からの技術者派遣も含めサービス体制を整え、昨年 12 月よりお客さまの機械の復旧支援を開始しました。また第 2 四半期より、完全子会社化したギガフォトン（株）の売上げ・利益を連結しております。これらの結果、当部門の売上高は 1,834 億円（前年同期比 18.3%増）となりました。

## （2）連結財政状態に関する定性的情報

### ＜財政状態＞

当第 3 四半期連結会計期間末の総資産は、たな卸資産の増加などにより、前期末に比べ 790 億円増の 2 兆 2,281 億円となりました。有利子負債残高は、前期末に比べ 1,238 億円増の 6,678 億円となりました。株主資本は、前期末に比べ 39 億円増の 9,277 億円となり、株主資本比率は前期末に比べ 1.4 ポイント減の 41.6%となりました。ネット・デット・エクイティ・レシオ（注）は前期末の 0.50 に対して、0.61 となりました。

（注）ネット・デット・エクイティ・レシオ（負債資本比率）＝（有利子負債－現預金）／株主資本

### ＜キャッシュ・フロー＞

当第 3 四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加などにより、前年同期の 1,329 億円の収入から 720 億円減少し、608 億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の購入ならびに子会社及び持分法適用会社株式の取得などにより、982 億円の支出（前年同期比 333 億円の支出増）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金支払いに加え、消却を目的とした自己株式の取得による支出がありましたが、長期債務による調達ならびに短期債務の増加により、620 億円の収入（前年同期は 596 億円の支出）となりました。これらに為替相場変動の影響を加えた結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は前期末に比べ 193 億円増加し、1,036 億円となりました。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

本決算短信に記載の平成 24 年 3 月期の連結業績予想は昨年 10 月 27 日に見直したものです。

## 2. その他の情報

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動

当第 3 四半期連結累計期間において、コマツユーティリティ（株）は当社と合併したことにより連結除外となりました。

### （2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

### 3. 連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

区分	前連結会計年度末 (2011年3月31日)		当第3四半期連結会計期間末 (2011年12月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(資産の部)				
流動資産				
現金及び現金同等物	84,224		103,619	
定期預金	734		1,183	
受取手形及び売掛金	532,757		495,364	
たな卸資産	473,876		577,075	
繰延税金及びその他の流動資産	152,781		159,841	
流動資産合計	1,244,372	57.9	1,337,082	60.0
長期売上債権	183,270	8.5	176,662	7.9
投資				
関連会社に対する投資及び貸付金	25,115		19,358	
投資有価証券	60,855		42,272	
その他	3,124		3,268	
投資合計	89,094	4.1	64,898	2.9
有形固定資産	508,387	23.7	520,517	23.4
営業権	29,321	1.4	30,626	1.4
その他の無形固定資産	53,971	2.5	57,675	2.6
繰延税金及びその他の資産	40,722	1.9	40,685	1.8
資産合計	2,149,137	100.0	2,228,145	100.0

区分	前連結会計年度末 (2011年3月31日)		当第3四半期連結会計期間末 (2011年12月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(負債の部)				
流動負債				
短期債務	130,308		235,311	
長期債務				
－1年以内期限到来分	122,608		149,944	
支払手形及び買掛金	308,975		276,619	
未払法人税等	38,829		15,664	
繰延税金及びその他の流動負債	199,268		214,066	
流動負債合計	799,988	37.2	891,604	40.0
固定負債				
長期債務	291,152		282,617	
退職給付債務	48,027		47,496	
繰延税金及びその他の負債	37,290		36,706	
固定負債合計	376,469	17.5	366,819	16.5
負債合計	1,176,457	54.7	1,258,423	56.5
(純資産の部)				
資本金	67,870		67,870	
資本剰余金	140,523		141,214	
利益剰余金				
利益準備金	34,494		37,187	
その他の剰余金	847,153		934,135	
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 131,059		△ 186,593	
自己株式	△ 35,138		△ 66,048	
株主資本合計	923,843	43.0	927,765	41.6
非支配持分	48,837	2.3	41,957	1.9
純資産合計	972,680	45.3	969,722	43.5
負債及び純資産合計	2,149,137	100.0	2,228,145	100.0

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

区分	前第3四半期連結累計期間 自 2010年 4月 1日 至 2010年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自 2011年 4月 1日 至 2011年12月31日	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
売上高	1,301,973	100.0	1,448,509	100.0
売上原価	946,407	72.7	1,048,195	72.4
販売費及び一般管理費	190,488	14.6	208,677	14.4
その他の営業収益 (△費用)	△ 2,331	△ 0.2	198	0.0
営業利益	162,747	12.5	191,835	13.2
その他の収益 (△費用)	△ 3,844		△ 6,144	
受取利息及び配当金	3,012	0.2	3,035	0.2
支払利息	△ 4,651	△ 0.4	△ 5,721	△ 0.4
その他 (純額)	△ 2,205	△ 0.2	△ 3,458	△ 0.2
税引前四半期純利益	158,903	12.2	185,691	12.8
法人税等	55,650	4.3	51,218	3.5
持分法投資損益調整前四半期純利益	103,253	7.9	134,473	9.3
持分法投資損益	2,399	0.2	1,401	0.1
四半期純利益	105,652	8.1	135,874	9.4
非支配持分損益	△ 5,030	△ 0.4	△ 6,498	△ 0.4
当社株主に帰属する四半期純利益	100,622	7.7	129,376	8.9
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的	103.97 円		133.86 円	
希薄化後	103.91 円		133.75 円	

(第3四半期連結会計期間)

区分	前第3四半期連結会計期間 自 2010年10月 1日 至 2010年12月31日		当第3四半期連結会計期間 自 2011年10月 1日 至 2011年12月31日	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
売上高	442,210	100.0	462,642	100.0
売上原価	316,530	71.6	335,207	72.5
販売費及び一般管理費	65,738	14.9	68,538	14.8
その他の営業収益 (△費用)	△ 1,107	△ 0.3	△ 11	△ 0.0
営業利益	58,835	13.3	58,886	12.7
その他の収益 (△費用)	△ 43		△ 3,438	
受取利息及び配当金	683	0.2	950	0.2
支払利息	△ 1,362	△ 0.3	△ 2,066	△ 0.4
その他 (純額)	636	0.1	△ 2,322	△ 0.5
税引前四半期純利益	58,792	13.3	55,448	12.0
法人税等	22,143	5.0	18,956	4.1
持分法投資損益調整前四半期純利益	36,649	8.3	36,492	7.9
持分法投資損益	1,201	0.3	367	0.1
四半期純利益	37,850	8.6	36,859	8.0
非支配持分損益	△ 992	△ 0.2	△ 2,158	△ 0.5
当社株主に帰属する四半期純利益	36,858	8.3	34,701	7.5
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的	38.09 円		36.01 円	
希薄化後	38.06 円		35.98 円	

(3) 四半期連結純資産計算書

前第3四半期連結累計期間(自2010年4月1日至2010年12月31日)

(金額単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金		その他の 包括利益 (△損失) 累計額	自己株式	株主資本 合計	非支配持分	純資産 合計
			利益準備金	その他の 剰余金					
前々期末残高(2010年3月31日現在)	67,870	140,421	31,983	724,090	△ 95,634	△ 34,755	833,975	42,824	876,799
現金配当				△ 25,178			△ 25,178	△ 975	△ 26,153
利益準備金への振替			1,260	△ 1,260			-		-
持分変動及びその他							-	1,910	1,910
包括利益(△損失)									
四半期純利益				100,622			100,622	5,030	105,652
その他の包括利益(△損失) 一税控除後									
外貨換算調整勘定					△ 56,935		△ 56,935	△ 3,382	△ 60,317
未実現有価証券評価損益					274		274	-	274
年金債務調整勘定					418		418	-	418
未実現デリバティブ評価損益					723		723	79	802
四半期包括利益							45,102	1,727	46,829
新株予約権の付与及び行使		133					133		133
自己株式の購入等						△ 572	△ 572		△ 572
自己株式の売却等		7				59	66		66
前第3四半期末残高(2010年12月31日現在)	67,870	140,561	33,243	798,274	△ 151,154	△ 35,268	853,526	45,486	899,012

当第3四半期連結累計期間(自2011年4月1日至2011年12月31日)

(金額単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金		その他の 包括利益 (△損失) 累計額	自己株式	株主資本 合計	非支配持分	純資産 合計
			利益準備金	その他の 剰余金					
前期末残高(2011年3月31日現在)	67,870	140,523	34,494	847,153	△ 131,059	△ 35,138	923,843	48,837	972,680
現金配当				△ 39,701			△ 39,701	△ 5,987	△ 45,688
利益準備金への振替			2,693	△ 2,693			-		-
持分変動及びその他		△ 146					△ 146	△ 4,089	△ 4,235
包括利益(△損失)									
四半期純利益				129,376			129,376	6,498	135,874
その他の包括利益(△損失) 一税控除後									
外貨換算調整勘定					△ 47,894		△ 47,894	△ 3,144	△ 51,038
未実現有価証券評価損益					△ 7,348		△ 7,348	-	△ 7,348
年金債務調整勘定					△ 366		△ 366	-	△ 366
未実現デリバティブ評価損益					74		74	△ 158	△ 84
四半期包括利益							73,842	3,196	77,038
新株予約権の付与及び行使		704					704		704
自己株式の購入等						△ 31,112	△ 31,112		△ 31,112
自己株式の売却等		133				202	335		335
当第3四半期末残高(2011年12月31日現在)	67,870	141,214	37,187	934,135	△ 186,593	△ 66,048	927,765	41,957	969,722

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期 連結累計期間 自 2010年 4月 1日 至 2010年12月31日	当第3四半期 連結累計期間 自 2011年 4月 1日 至 2011年12月31日
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益	105,652	135,874
四半期純利益から営業活動による現金及び現金同等物の増減(純額)への調整		
減価償却費等	66,128	68,074
法人税等繰延分	23,907	4,721
有価証券及び投資有価証券売却損益	△ 72	2,285
有形固定資産売却損益	△ 1,946	△ 227
固定資産廃却損	948	1,331
未払退職金及び退職給付債務の増減	△ 4,142	1,239
資産及び負債の増減		
受取手形及び売掛金の増減	△ 48,750	20,036
たな卸資産の増減	△ 94,511	△ 134,650
支払手形及び買掛金の増減	78,182	△ 30,273
未払法人税等の増減	△ 126	△ 21,773
その他(純額)	7,659	14,243
営業活動による現金及び現金同等物の増減(純額)	132,929	60,880
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の購入	△ 74,383	△ 96,561
固定資産の売却	6,317	5,278
売却可能投資有価証券の売却	1,843	1,256
売却可能投資有価証券等の購入	△ 493	△ 1,446
子会社及び持分法適用会社株式の取得(現金取得額との純額)	758	△ 7,836
貸付金の回収	1,556	1,908
貸付金の貸付	△ 918	△ 400
定期預金の増減	407	△ 442
投資活動による現金及び現金同等物の増減(純額)	△ 64,913	△ 98,243
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期債務による調達	50,162	105,827
長期債務の支払	△ 50,392	△ 37,949
短期債務の増減(純額)	△ 10,339	118,322
キャピタルリース債務の減少	△ 24,034	△ 42,863
自己株式の売却及び取得(純額)	30	△ 30,833
配当金支払	△ 25,178	△ 39,701
その他(純額)	121	△ 10,725
財務活動による現金及び現金同等物の増減(純額)	△ 59,630	62,078
為替相場変動による現金及び現金同等物への影響額	△ 6,462	△ 5,320
現金及び現金同等物純増減額	1,924	19,395
現金及び現金同等物期首残高	82,429	84,224
現金及び現金同等物四半期末残高	84,353	103,619

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2010年4月1日至2010年12月31日)

(百万円)

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,146,921	155,052	1,301,973	—	1,301,973
(2) セグメント間の内部売上高	1,614	7,740	9,354	△ 9,354	—
計	1,148,535	162,792	1,311,327	△ 9,354	1,301,973
セグメント利益	156,379	13,403	169,782	△ 4,704	165,078

当第3四半期連結累計期間(自2011年4月1日至2011年12月31日)

(百万円)

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,265,104	183,405	1,448,509	—	1,448,509
(2) セグメント間の内部売上高	3,956	6,038	9,994	△ 9,994	—
計	1,269,060	189,443	1,458,503	△ 9,994	1,448,509
セグメント利益	178,958	16,721	195,679	△ 4,042	191,637

前第3四半期連結会計期間(自2010年10月1日至2010年12月31日)

(百万円)

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	383,276	58,934	442,210	—	442,210
(2) セグメント間の内部売上高	623	2,309	2,932	△ 2,932	—
計	383,899	61,243	445,142	△ 2,932	442,210
セグメント利益	54,077	7,270	61,347	△ 1,405	59,942

当第3四半期連結会計期間(自2011年10月1日至2011年12月31日)

(百万円)

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	411,430	51,212	462,642	—	462,642
(2) セグメント間の内部売上高	1,222	1,834	3,056	△ 3,056	—
計	412,652	53,046	465,698	△ 3,056	462,642
セグメント利益	58,804	1,594	60,398	△ 1,501	58,897

(注) 1. 事業の種類別セグメントに含まれる主要製品・事業内容は、次のとおりです。

a. 建設機械・車両

掘削機械、積込機械、整地・路盤用機械、運搬機械、林業機械、地下建設機械、資源リサイクル機械、産業車両、その他機械、エンジン、機器、鋳造品、物流関連

b. 産業機械他

鍛圧機械、板金機械、工作機械、防衛関連、温度制御機器、その他

2. セグメント間の取引は、独立企業間価格で行われています。



【地域別情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2010年4月1日 至 2010年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 2011年4月1日 至 2011年12月31日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
前第3四半期連結累計期間	256,680	289,839	114,065	282,145	285,059	74,185	1,301,973
当第3四半期連結累計期間	293,345	333,982	150,370	208,289	369,417	93,106	1,448,509

前第3四半期連結会計期間（自 2010年10月1日 至 2010年12月31日）及び当第3四半期連結会計期間（自 2011年10月1日 至 2011年12月31日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
前第3四半期連結会計期間	93,561	93,252	41,927	96,018	92,873	24,579	442,210
当第3四半期連結会計期間	101,912	109,674	49,800	48,414	125,045	27,797	462,642

※ 日本及び中国除く

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、2011年10月27日開催の取締役会の決議に基づき、資本効率の向上と株主の皆さまへの利益還元を図るため、2011年11月から12月にかけて15,613,800株、29,997百万円の自己株式を市場買付けにより取得しました。

なお、株主資本の変動の内訳につきましては、P.11の「四半期連結純資産計算書」をご参照ください。